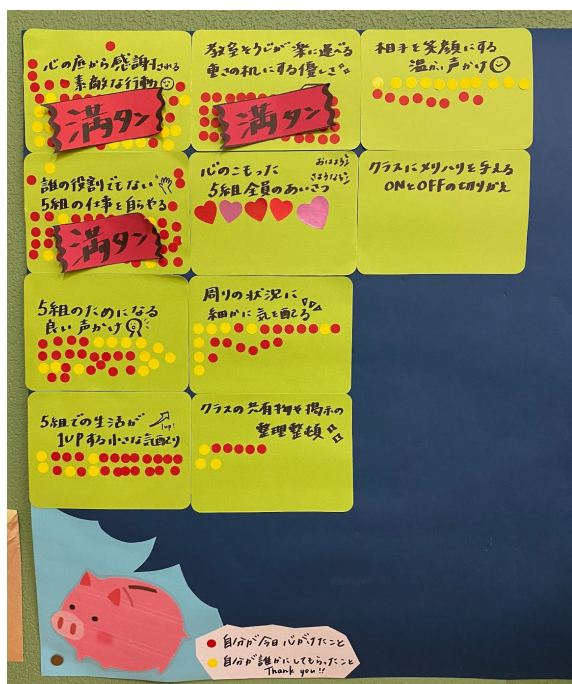


10 思いやり貯金

学級生活は自分だけでなく、たくさんの生徒や教員と創り上げるものです。毎日の生活の中で、自分が他者を思い行動したこと、周りから助けられたことを可視化するための掲示物です。



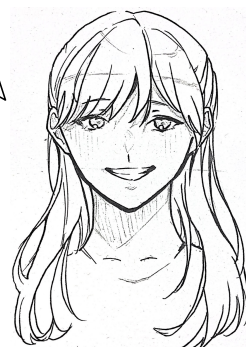
思いやり項目に対し、自分が意識できた！と思った時には赤、誰かに思いやりしてもらったと思った時には黄色のシールを貼ります。項目は学級で話し合い、今の学級にとって必要なものを考えました。

シールが満杯に貼られた項目には「満タン」と表示します。オレンジのカード、ピンクのカードは、一度満タンになっている思いやりの2学期版・3学期版のように、複数回に渡って同じ項目の思いやりを集めた項目です。

年度当初は、学級で何が起ころうと「我関せず」で、自分のことばかりをみて生活する生徒が多い状態でした。自己肯定感が低く、他者から認められないと感じている生徒もいたため、学級の中で自分や友人の行動を振り返り、成果を可視化することで自己有用感や自己効力感を高めるために取り組みをはじめました。お互いの心に触れ、温かい関係性を作ることも目的となっていました。

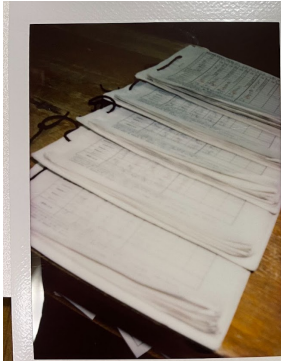
担任学級の中学3年生は、卒業までの1年間で27枚の「貯金」に取り組み、卒業間際に追加された貯金以外は満タンにすることができました。生徒たちの会話の中にも「思いやり貯金」が登場し、シールを貼りながら、相手の行動に対して直接感謝の気持ちを伝える機会も増えていたようです。それが原動力となり、自らアクションを起こしてみようという勇気に繋がった生徒もいました。

学級での集団生活に対し主体的に取り組もうとする姿勢でいることができるかどうかは、自己効力感にかかっていると感じます。「自分にはできる！」という気持ちが学級を動かし、学級に認められ、さらなるチャレンジに繋がる。成長著しい年頃の生徒にとって、自分の行動をゆっくりと噛み締め、自分の良さ（「今」だけでなく、長い人生で自信になるような）を発見するきっかけになっていたら良いと、卒業生の姿を思い出しながら考えています。



頑張りと成長を“自分で”感じる写真掲示

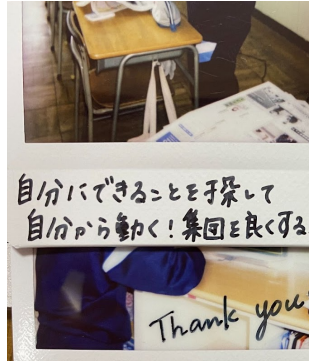
日々成長し続ける生徒の頑張る瞬間、まさに成長している瞬間を逃さずに捉え、それを掲示し記録します。自分たちの歩みを肯定的に捉え、さらにステップアップしようという気持ちを後押しします。



見る人のことを考えた、心遣いが
スツッとさせる 格好良さ



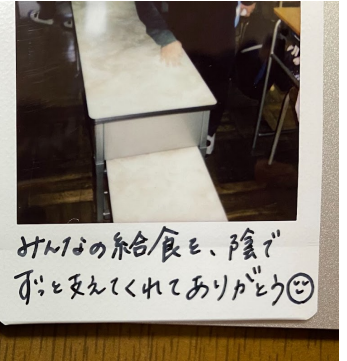
電気が反射してしまふほどの
ピカピカな黒板！努力の証



自分にできることを探して
自分から動く！集団を良くする人！

Thank you!

日頃 何気なく目にするものを
陰ながら整えてくれている人が可



みんなの集合写真、陰で
ずっと見てくれてありがとう😊



写真には生徒たちの頑張りを認める担任からのコメントをいれ、撮影から間を開けずできるだけ素早く掲示しました。

写真に写るのが苦手な生徒もいるため、頑張りが分かる物の写真も多くあります。

中学3年生では、年間で撮り溜めた100枚以上の写真を、卒業式の日黒板に「今までの糧で力強く未来へ羽ばたいていける翼」として掲示し生徒を見送りました。



日々当たり前のように過ごしている瞬間にも生徒の成長は見えますが、本人にとっては当たり前のことすぎて、成長として捉えることができずにいる場合が多くあると感じ、この取り組みをはじめました。

自分の姿を客観的に見ることで、自己有用感や自己信頼感を得る機会となっていました。また掲示された写真を見ながら、他の生徒の頑張りに対して感謝の気持ちや激励の言葉を伝える機会にもなり、同時に自分も頑張ろうと奮い立たされるきっかけともなっていたようです。

認め合い高め合える学級づくりの軸として、続けていきたいと思っています。

